



Glyphosate TEST

番号#	9900001	採取時刻	10:00 AM
患者名	Report Sample	検体採取日	Mar 20, 2026
生年月日	Mar 9, 2021	サンプルの種類	Urine
性別	F	レポート日付	Mar 31, 2026
医師名	NO PHYSICIAN		

色分け ● 低 ● 中 ● 高

クレアチニン値* : 100.00 mg/dl

代謝物	結果	パーセンタイル
親化合物	UG/Gクレアチニン DL - 検出限界 ULOQ - 測定上限値	75% 95%

グリホサート 尿

グリホサート



グリホサートは、農業や林業から家庭用まで、750種類以上の製品に使用されている幅広い除草剤です。グリホサートは世界で最も広く生産されている除草剤であり、ラウンドアップ™などの製品の主要成分でもあります。グリホサートの残留物は食品や水に含まれる可能性があり、その摂取が曝露に繋がります。食事からの摂取がグリホサート曝露の重要な原因であることが研究で示されており、従来型の食事を摂取している人の方が、オーガニックな食事を摂取している人よりも高い濃度が検出されていることが示されています。グリホサートは室内の埃にも含まれることがあり、汚染された埃粒子の吸入や摂取によって曝露される可能性もあります。この曝露経路は、都市部でも農村部でも同様です。

グリホサートは、国際がん研究機関(IARC)により、特に非ホジキンリンパ腫との関連で「発がん性の可能性が高い」と分類されています。グリホサートは、微生物の多様性を減少させ、有益な細菌を破壊することによって、腸内細菌叢を変質させます。グリホサートは、植物、菌類、多くの細菌において芳香族アミノ酸の合成に不可欠なシキミ酸経路を含む主要経路を阻害することによって微生物に影響を与えます。グリホサートへの曝露は、消化、免疫、健康に不可欠な微生物の機能も損なう恐れがあります。グリホサートが脳や行動に重大な悪影響を及ぼし、パーキンソン病やアルツハイマー病などの深刻な神経疾患のリスクを高めるという証拠も示されています。グリホサートへの曝露は、脂質代謝やグルコースホメオスタシスの乱れなど、代謝に重大な変化をもたらす可能性があり、グリホサートの尿中濃度が高いほど、二型糖尿病(T2DM)のリスクが増加することが知られています。

グリホサートは体内で急速に代謝され、半減期は一般的に数時間から1日程度です。グリホサートは水への溶解度が高いため、腸、肝臓、腎臓などの上皮組織を通過して容易に吸収されます。尿中のグリホサート濃度の高い値は、肝機能障害や腎障害のバイオマーカーの上昇に関連しています。グリホサートへの曝露を減らす最善の方法は、オーガニック食品を食べることです。複数の研究で、オーガニック食品を食べると尿中グリホサート濃度が有意に低下することが証明されています。その他、曝露を減らす手段としては、グリホサートが散布される地域、特に散布シーズン中の居住を避けること、遺伝子組み換え(GMO)食品、GMO食品が飼料として使用された畜産物を避けることなどがあげられます。

また、グリホサートのキレート特性が、重金属の移動性と生物学的利用能を高めることにより、さまざまな環境下において、重金属への曝露を増加させる可能性があるため、重金属曝露の検査を受けることも考慮すべきでしょう。

方法: Jaffe反応法に基づいたELISAによるクレアチニン。* クレアチニン検査は、水分摂取量の違いによって代謝マーカーの結果を調整するために実施されます。無作為に採取した尿のクレアチニン値は、直近の水分摂取による変動があるため、診断的価値は限定的です。

結果は、完全な臨床像、患者の病歴および症状と併せて、医療提供者の裁量で解釈する必要があります。

この検査は、Mosaic Diagnostics Laboratory/によって開発され、その性能特性が決定されました。米国食品医薬品局(FDA)の認可や承認を受けていませんが、臨床使用のためのCLIA規制に準拠しています。

